

「日本とニュージーランドの国際交流 ～社会・経済・福祉の分野を中心に～」

日本とニュージーランドは昨年、国交樹立70周年を迎えました。また、ニュージーランドが世界初の女性参政権100周年を迎えた1993年に創設された本学会は、今年創設30周年となります。「公益」を建学の理念とする東北公益文科大学（山形県酒田市・鶴岡市）では2002年に日本唯一のニュージーランド研究所が創設され、酒田市は同研究所の協力を得て2020年東京オリンピック・パラリンピックの際、ニュージーランドのホストタウンとして登録されました。

このように広がりを見せる日本とニュージーランドの各分野におけるこれまでの交流を振り返り今後のあり方を展望するシンポジウムを、両国間の交流に長く携わってきた専門家を迎えて開催します。

【報告1】 高橋康昌さん（元・日本ニュージーランド学会長）

「日本ニュージーランド学会創設の経緯（仮）」

【報告2】 石見禎さん（北海道大学）

「世界の中のニュージーランド（仮）」

【報告3】 宮崎智世さん（駐日ニュージーランド大使館・エグゼクティブ・オフィサー）

「大使館から見た日本ニュージーランド学会（仮）」

【報告4】 武田真理子さん（東北公益文科大学・日本ニュージーランド学会長）

「ニュージーランドから考える公益社会の実現（仮）」

【ディスカッション】 ファシリテータ 矢口明子（日本ニュージーランド学会員）

日時： 2023年6月17日（土） 15時15分～17時15分

会場： 東北公益文科大学酒田キャンパス 大教室(301教室)

（教育研究棟 3階）

参加方法： ①会場へ来場、又は②オンライン(ZOOM)で参加

参加方法： ①の場合、申込不要（直接会場へ来場）。

②の場合、6月15日（木）12:00までに大会事務局・澤邊（sawabe@koeki-u.ac.jp）宛にお申し込み下さい。

※件名に「日本NZ学会公開シンポジウム申込」と記入の上、本文に①氏名、②所属、③ZOOM IDの送付先となるメールアドレス、④電話番号を記載して下さい。

参加費： 無料

問合せ先： 学会事務局 澤邊まで（オンラインの申込先と同じ）